



join-failover-group ~ kill コマンド

join-failover-group

フェールオーバー グループにコンテキストを割り当てるには、コンテキスト コンフィギュレーション モードで **join-failover-group** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

join-failover-group *group_num*

no join-failover-group *group_num*

シンタックスの説明

group_num フェールオーバー グループ番号を指定します。

デフォルト

フェールオーバー グループ 1

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスパ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
コンテキスト コンフィギュ レーション	•	•	—	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

フェールオーバー グループ 1 には必ず、**admin** コンテキストを割り当てます。**show context detail** コマンドを使用すると、フェールオーバー グループとコンテキストの関連付けを表示できます。

フェールオーバー グループにコンテキストを割り当てる前に、システム コンテキストで **failover group** コマンドを使用して、フェールオーバー グループを作成する必要があります。このコマンドは、コンテキストがアクティブ ステートになっている装置上で入力します。未割り当てのコンテキストはデフォルトでフェールオーバー グループ 1 のメンバーになるので、フェールオーバー グループにコンテキストを割り当てたことがない場合は、アクティブ ステートのフェールオーバー グループ 1 がある装置上でこのコマンドを入力する必要があります。

システムからフェールオーバー グループを削除するには、その前に **no join-failover-group** コマンドを使用して、フェールオーバー グループからすべてのコンテキストを削除する必要があります。

例 次に、フェールオーバー グループ 2 に ctx1 という名前のコンテキストを割り当てる例を示します。

```
hostname(config)# context ctx1
hostname(config-context)# join-failover-group 2
hostname(config-context)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
context	指定のコンテキストに対して、コンテキスト コンフィギュレーション モードを開始します。
failover group	アクティブ / アクティブ フェールオーバーを行うフェールオーバー グループを定義します。
show context detail	名前、クラス、インターフェイス、フェールオーバー グループの関連付け、コンフィギュレーション ファイルの URL を含めて、コンテキストの詳細情報を表示します。

kerberos-realm

この Kerberos サーバのレルム名を指定するには、AAA サーバ ホスト コンフィギュレーション モードで **kerberos-realm** コマンドを使用します。レルム名を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

kerberos-realm *string*

no kerberos-realm

シンタックスの説明

string 大文字と小文字の区別がある 64 文字までの英数字文字列。文字列の中にスペースを含めることはできません。



(注) Kerberos レルムでは、数字と大文字だけを使用します。FWSM は *string* 引数に含まれている小文字を受け付けますが、小文字が大文字に変換されることはありません。必ず、大文字だけを使用してください。

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
aaa サーバ ホスト コンフィ ギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このリリースで追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドが有効なのは、Kerberos サーバに限定されます。

string 引数の値は、Kerberos レルム用の Windows 2000 Active Directory サーバで実行したときの、Microsoft Windows **set USERDNSDOMAIN** コマンド出力と一致させる必要があります。次の例で、EXAMPLE.COM は Kerberos レルム名です。

```
C:\>set USERDNSDOMAIN
USERDNSDOMAIN=EXAMPLE.COM
```

string 引数で使用するのは、数字と大文字に限定する必要があります。**kerberos-realm** コマンドでは大文字と小文字が区別され、FWSM が小文字を大文字に変換することはありません。

例 次に、**kerberos-realm** コマンドを使用し、AAA サーバ ホストを設定するコンテキストで、Kerberos レalmを [EXAMPLE.COM] に設定する例を示します。

```
hostname(config)# aaa-server svrgrp1 protocol kerberos
hostname(config-aaa-server-group)# aaa-server svrgrp1 host 1.2.3.4
hostname(config-aaa-server-host)# timeout 9
hostname(config-aaa-server-host)# retry 7
hostname(config-aaa-server-host)# kerberos-realm EXAMPLE.COM
hostname(config-aaa-server-host)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa-server host	AAA サーバ ホスト コンフィギュレーション モードを開始し、ホスト固有の AAA サーバ パラメータを設定できるようにします。
clear configure aaa-server	コンフィギュレーションからすべての AAA コマンド ステートメントを削除します。
show running-config aaa-server	すべての AAA サーバ、特定のサーバ グループ、特定のグループ内の特定のサーバ、または特定のプロトコルについて、AAA サーバの統計情報を表示します。

key

AAA サーバに対する FWSM の認証で使用するサーバ シークレット値を指定するには、AAA サーバ ホスト モードで **key** コマンドを使用します。AAA サーバ ホスト コンフィギュレーション モードには、AAA サーバ プロトコル コンフィギュレーション モードからアクセスします。鍵を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

key *key*

no *key*

シンタックスの説明

key 最大 127 文字の英数字キーワード

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト	システム
AAA サーバ ホスト	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

key 値は、127 文字までの英数字からなるキーワードで、TACACS+ サーバ上の鍵と同じ値にします。大文字と小文字の区別があります。127 文字を超えて入力された文字は無視されます。この鍵は、クライアントとサーバの間でやり取りするデータを暗号化するために使用されます。クライアントシステムとサーバシステム間で鍵を一致させる必要があります。鍵にスペースを含めることはできませんが、その他の特殊文字は使用できます。

このコマンドが有効なのは、RADIUS サーバおよび TACACS+ サーバに限定されます。

FWSM の旧バージョンで使用されていた **aaa-server** コマンドの **key** パラメータは、同等の **key** コマンドに自動的に変換されます。

例

次に、ホスト [1.2.3.4] 上の [svrgrp1] という TACACS+ AAA サーバを設定し、タイムアウトを 9 秒、再試行間隔を 7 秒、鍵を [myexclusivemumblekey] にする例を示します。

```
hostname(config)# aaa-server svrgrp1 protocol tacacs+
hostname(config-aaa-server-group)# aaa-server svrgrp1 host 1.2.3.4
hostname(config-aaa-server-host)# timeout 9
hostname(config-aaa-server-host)# retry-interval 7
hostname(config-aaa-server-host)# key myexclusivemumblekey
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>aaa-server host</code>	AAA サーバホスト コンフィギュレーション モードを開始し、ホスト固有の AAA サーバ パラメータを設定できるようにします。
<code>clear configure aaa-server</code>	コンフィギュレーションから AAA コマンド ステートメントをすべて削除します。
<code>show running-config aaa-server</code>	AAA サーバの設定を表示します。

keypair

公開鍵を認証する鍵のペアを指定するには、`crypto ca` トラストポイント コンフィギュレーション モードで `keypair` コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの `no` 形式を使用します。

`keypair name`

`no keypair`

シンタックスの説明

<i>name</i>	鍵ペアの名前を指定します。
-------------	---------------

デフォルト

鍵ペアを含めないのがデフォルトの設定です。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
crypto ca トラストポイント コ ンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更
3.1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、トラストポイント `central` に対して `crypto ca` トラストポイント コンフィギュレーション モードを開始し、トラストポイント `central` の認証を受ける鍵ペアを指定する例を示します。

```
hostname(config)# crypto ca trustpoint central
hostname(ca-trustpoint)# keypair exchange
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>crypto ca trustpoint</code>	トラストポイント コンフィギュレーション モードを開始します。
<code>crypto key generate dsa</code>	DSA 鍵を生成します。
<code>crypto key generate rsa</code>	RSA 鍵を生成します。
<code>default enrollment</code>	登録パラメータをデフォルトに戻します。

kill

Telnet セッションを終了するには、特権 EXEC モードで **kill** コマンドを使用します。

```
kill telnet_id
```

シンタックスの説明

<i>telnet_id</i>	Telnet セッション ID を指定します。
------------------	-------------------------

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト	
	ルーテッド	トランスペ アレント	シングル	マルチ コンテキスト
特権 EXEC	•	•	•	•
				システム

コマンド履歴

リリース	変更
1.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

kill コマンドを使用すると、Telnet セッションを終了できます。Telnet セッション ID を調べるには、**who** コマンドを使用します。Telnet セッションを終了させると、FWSM によってあらゆるアクティブ コマンドが中止され、接続がドロップされます。警告は出されません。

例

次に、ID が [2] の Telnet セッションを終了させる例を示します。最初に、**who** コマンドを入力して、アクティブな Telnet セッションのリストを表示します。次に、**kill 2** コマンドを入力して、ID が [2] の Telnet セッションを終了させます。

```
hostname# who
2: From 10.10.54.0

hostname# kill 2
```

関連コマンド

コマンド	説明
telnet	FWSM への Telnet アクセスを設定します。
who	アクティブな Telnet セッションのリストを表示します。

